ー若年女性を取り巻く現状ー

特定非営利活動法人BONDプロジェクト

BONDプロジェクトの概要

bond Project

「１０代２０代の生きづらさを抱える女の子のための支援」

困難を抱えた少女たちにとって相談しやすい環境をつくり、
虐待、性暴力、望まない妊娠・出産、非行、依存症、自傷行為、ひきこもり
など『生きづらさ』を抱えた少女たちの声を聞き続けている。

繁華街での声かけ活動のほか、相談対応を通して一人ひとりをエンパワメントするとともに、専門機関との連携、同行支援、緊急時の一時的な保護を実施している。

２００９年設立。渋谷を拠点に活動。

- 代表者　　橘 ジュン
- 規　模　　常勤スタッフ５人　非常勤スタッフ１０人

活動内容

bond Project

聴く。

LINE相談、メール相談、電話相談、面接相談
ネットパトロール
街頭パトロール、アンケート
カフェ型移動相談

伝える。

フリーペーパー「VOICES MAGAZINE」発行
講演会・啓発活動
10代20代女性を対象としたイベント
渋谷のラジオパーソナリティー「渋谷の漂流少女たち」

繋げる。

弁護士と連携し、他専門機関へ繋ぐ
一時保護、同行支援
中長期保護（自立生活支援）

長期にわたる包括的支援

知る

Twitter、YouTube
テレビ・新聞等での紹介

ネットパトロール
街頭パトロール・アンケート・取材

bond Project
動く相談窓口

見つける

LINE相談　メール相談
電話相談　面接相談　出張面談

弁護士
連携

シェルターでの一時保護

○安全な場所（衣食住）の提供
○状況、気持ちの整理（カウンセリング）
○次のステップを決め、後押し

医療機関
警察
などへの
同行

繋げる

18歳未満　18歳以上

児童相談所・女性相談センター

自立援助ホーム・婦人保護施設
グループホーム・一人暮らしなど

虐待や危険がない場合

自宅

家にも帰れず、
公的機関にも繋がらない子

ボンドのイエ
kazaguruma

bondにて中長期保護
（自立生活支援）

bond Project（本部）

・LINE相談：毎週月・水・木・金・土曜日
　18:30-22:30　（受付は22:00まで）
・メール相談：２４時間受付
・面談/同行支援/緊急時の一時的な保護：随時対応

bond Project@あらかわ 相談室 -若年世代のこころの居場所相談事業-

若年層の自殺率は増加しているにも関わらず、その手前での相談の声が行政の相談窓口になかなか届かないことを問題視。自殺対策に力を入れている荒川区より「若年世代の自殺予防相談事業」として委託を受けるに至った。

問題を抱えながらも公的な相談窓口へ行けず、声をあげられずにいる女の子たちのために開設。
他機関との連携、相談のしやすさを重視。
相談者が必要とする社会資源に繋ぐことを目標に掲げる。

・開室日：毎週 火･木･日曜14:00-20:00
・電話相談、面談、同行支援
　（電話相談：16:00～19:00）

ボンドのイエ
kazaguruma

10代20代の女の子のための
自立準備のための家

公的支援に繋がれない、制度からこぼれ落ちてしまう女の子たち
・次に繋がらないまま１８歳になり児童福祉法による支援が終了
・学校には通えているが虐待家庭にあり居場所のない大学生

行く場所がない、お金がない、自立準備のための拠点がない
ネットカフェ、公園、SNSで知り合った男性宅、カラオケ、ネットカフェ暮らし

このおうちで女の子に提供するもの

1　安心できる生活（衣食住）
2　生活習慣の獲得（料理・洗濯・掃除・お風呂の入り方・食べ方）
3　心のケア
（ボンドスタッフとの会話・面談、臨床心理士によるカウンセリング、共同生活者との関係づくり）
4　つながりを増やす（必要に応じて他の支援機関や自助グループなどの紹介）
5　自立へのサポート（仕事を探す、自立までの計画を一緒に立てる、家探しなど自立準備の補助）

いろんな経験や繋がりを自分のものにし、自分の足で立つ力を後押ししたい。

少女・若い女性に寄り添う

若草プロジェクト

若年女性がアクセス
しやすいツール
「LINE」を入口
とした相談窓口

・呼びかけ人：瀬戸内寂聴さん、村木厚子さん（前厚生労働事務次官）、他
・ネットワーク：弁護士、地域支援者、他

２０１７年 相談件数
８９２件

全国からの相談に対応。
支援者同士のネットワークを作り、
相談者のニーズに合った支援に繋げる。

BONDプロジェクトに届く声【相談件数】　2017年4月～2018年3月

bond Project

	メール	LINE	bond本部		あらかわ		同行支援	保護	他機関連携
			電話	面談	電話	面談			
4月	952	―	49	36	97	25	1	42	2
5月	1091	―	74	42	97	31	3	46	2
6月	877	―	61	34	95	24	2	32	2
7月	831	―	52	38	94	27	1	31	3
8月	910	―	74	61	99	37	1	59	2
9月	833	―	47	86	86	27	7	81	22
１０月	772	―	57	92	104	24	0	86	5
１１月	840	―	73	69	99	24	2	60	5
１２月	952	―	57	96	83	25	8	78	26
1月	1548	―	62	66	96	24	8	57	20
2月	1131	―	53	59	82	30	2	56	29
3月	1398	3975	17	76	52	24	5	64	38
合計	12135	3975	676	755	1084	322	40	692	156

メール　２４時間受付

bond本部　電話相談：週１回・６時間
面談：随時対応

bond@あらかわ　電話相談：週３回・各３時間
面談：週３回・最大３名/日

同行支援　病院（産婦人科）、警察、児童相談所、婦人相談、各種手続きなど

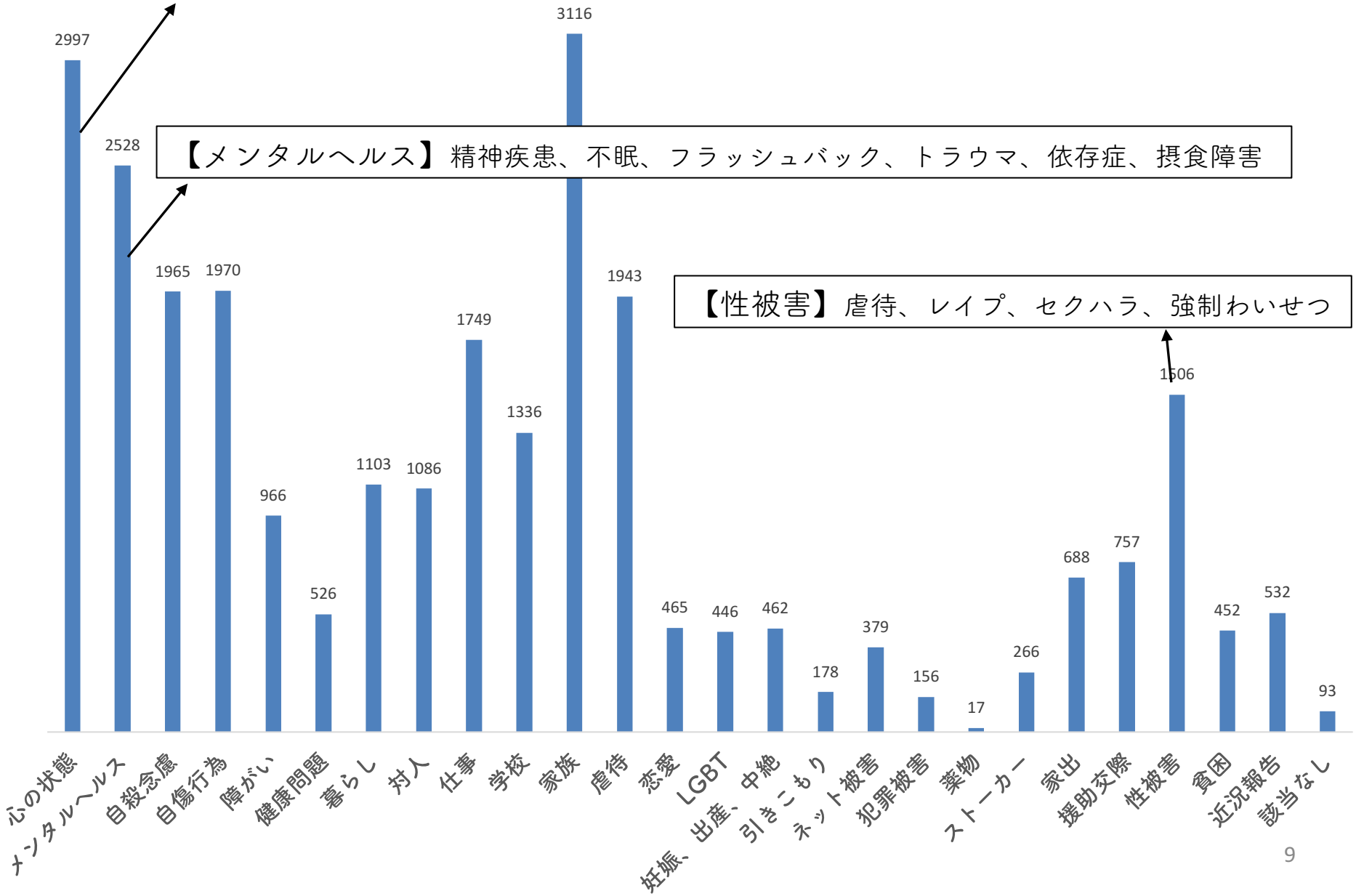
他機関連携　病院（精神科）、福祉事務所、児童相談所（委託保護）、弁護士など

問題の背景（複数回答）2017.4-2018.3面談・電話相談より

【心の状態】情緒不安定、さみしい、苦しい、しんどい、怖い、居場所がない、自責感

【メンタルヘルス】精神疾患、不眠、フラッシュバック、トラウマ、依存症、摂食障害

【性被害】虐待、レイプ、セクハラ、強制わいせつ



支援を受けなければいけない子ほど繋がらない

bond Project

なぜ相談に至らないのか

▼情報を知らなかった
▼危害を加えたり利用する大人ではない大人（安全な大人）との繋がりがなかった

▼人間不信、大人不信
→否定される、理解してもらえない、受け入れてもらえない、
　見捨てられたくない、親や学校や友達にバレてしまう（これまでの経験より）
▼「普通」でいたい

▼自分だけかと思っていた→とてもじゃないけど言えない
　みんなそうかと思っていた→当たり前のことだから言う必要がない
　性的虐待→「娘と父親はみんなこうしてる」と父親から聞かされていた

▼自己肯定感が低い
→自分が悪い、自分なんかが相談してはいけない、もっと辛い想いをしている人がいる、
　自分なんてどうなってもいい

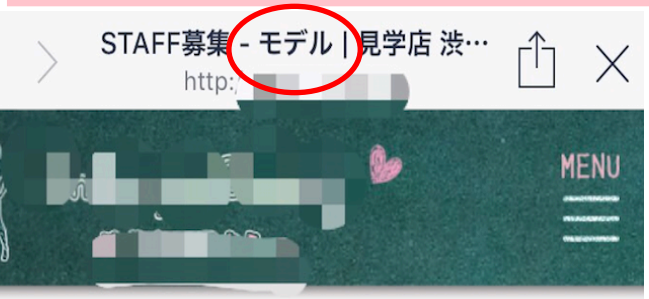
▼親を悪者（または犯罪者）にしたくない、迷惑をかけたくない、悲しませたくない、
　されている事は嫌だけどこんな目にあっても親が好き

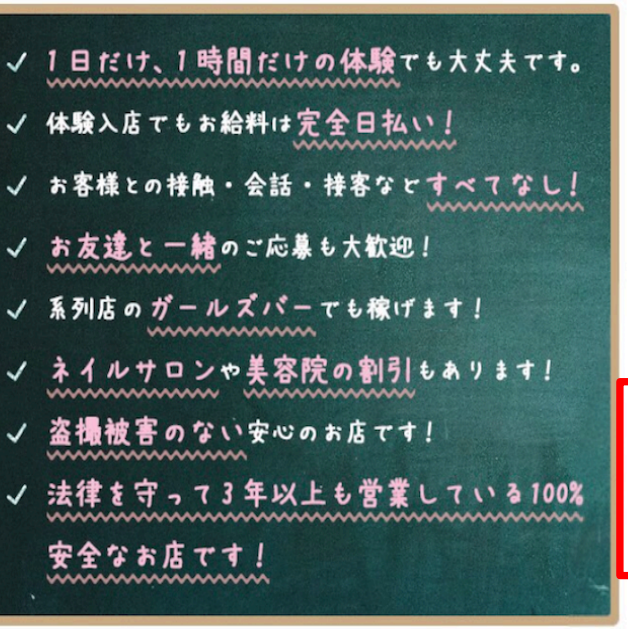
▼役所、相談先などに親族や知り合いがいる（地方の子に多い）

危険と分かりながらもJKビジネスに関わってしまう理由は？

貧困問題
自分が遊ぶためのお金だけというわけではなく、
学校の教科書代、交通費、進学のため、友達との交際費、携帯代などのお金が足りない

bond Projectの相談内容でも多いのは「**家族のこと**」
両親の不仲、**DV**、**虐待**、さらに**母児家庭**の世帯では経済的に苦しく
親にお金の**相談は出来ない**というケースもある。





「モデル」「**安心・安全・合法**」と記載。
印象も良く、気軽に踏み込みやすい。

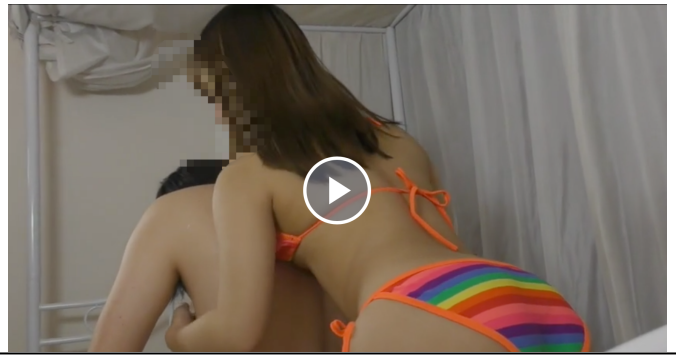
学校にもバレずに働けて、**短時間で高時給がもらえるなら**と勘違いしてしまう子も。

世間では「**女子高生**」をブランド化
チヤホヤする傾向
ある女の子は「**制服脱いだら自分には価値がない。必要としてもらえない**」と思い、今しかない！
と危険なJKビジネスに関わってしまった。

自己肯定感の低い女の子たちにとって、危険と知りながらも、得られるものより失うもののほうが多いということに気付くことができずに、巻き込まれてしまう子もいる。

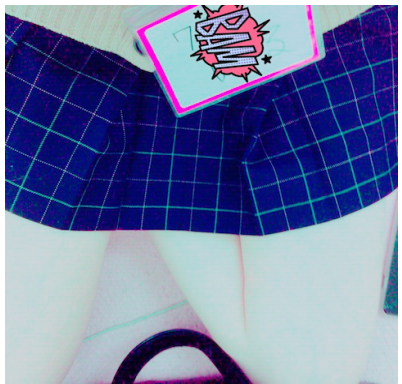
接触型	▼従業員をして客の身体のマッサージや添い寝、ハンドマッサージ、肩もみ、身体を洗う等のサービスや、体を触らせるサービスを提供する形態の営業。→いわゆる「リフレ」
同伴型	▼従業員をして客にデート等のサービスを提供する形態の営業 →いわゆる「散歩」
鑑賞型	▼直接またはマジックミラー越しに従業員の姿態を見せるサービスを提供する形態の営業→いわゆる「見学」 ▼従業員が折り紙やアクセサリー作り等の作業をしている姿態を見せるサービスを提供する形態の営業→いわゆる「作業所」 ▼個室または屋外等において、主に従業員の姿態を撮影させるサービスを提供する形態の営業→いわゆる「撮影」
接待型	▼従業員をして会話、占い、カウンセリング、ゲーム等のサービスを提供する形態の営業→いわゆる「コミュニケーション」
飲食遊興型	▼設備を設けて客に飲食させる営業で、カウンター席やテーブル席を設置した店内において、飲食物（酒類含む）等を提供する→いわゆる「喫茶」
ガールズバー 居酒屋	▼設備を設けて客に飲食させる営業で従業員に水着、下着、制服、体操着を着用させ、パフォーマンス付きでメニュー注文を受けさせたり、飲食物を運んだ際に客の面前でダンスをさせる等のサービスを提供
ガールズバー	▼設備を設けて客に飲食させる営業で、カウンター席が設置され、従業員に水着、下着、制服、体操着等を着用させ、カウンター越しに接客して酒類等を提供するショットバー形態

いざ JKビジネスを始めると…



▼「裏オプション」付けてもらわないと稼げない
▼「やりたくない事」を断れない
▼嫌なことがあってもお店側は守ってくれない
▼辞めたくてもなかなか辞めることができない

bondProjectに寄せられた
援助交際、JKビジネスに
関する相談
（2017.4～12 電話・面接相談）
５９３件



http://jk-chiba.jp

オプション一覧	金額
耳かき	1000円
ビンタ	1000円
頭なで	1000円
女の子の足のにおいかぎ	1000円
耳ふー	1000円
足踏みリフレ（3分）	1000円
ブルマ（※要予約）	2000円
女の子の耳なめ(1分)	2000円
ほっぺチュウ(3回)	2000円
おしりまくら（3分）	2000円
ラップチュウ（2回）（※要予約）	3000円
女の子太ももなめ(1分)	3000円
ポッキーゲーム（5本）（※要予約）	2000円
ハグ（1分）	2000円
胸の鼓動（1分）	2000円
壁ドン（5回）	2000円
見つめ合う（1分）	2000円
ビキニ(水着)	3000円
スク水	3000
女の子の耳なめ(1分)	3000

Case１　１７歳/JK見学店

制服をかわいく着こなして働けることに憧れの気持ちもあり、お金にも困っていたため入店した。マジックミラーの前にすわるだけだと聞いていたが、スタッフから常連客を作るよう促され、そのために鏡の前で過激なポーズを取らされるようになった。その内容はエスカレートしていくが、指名をもらえると特典が用意されており、スタッフから必要とされている、応援されていると錯覚した。

Case２　１７歳/JKリフレ

友達に誘われたことをきっかけに始める。スタッフが優しく接してくれるのでリフレが自分の居場所だとさえ感じるようになっていったが、個室では客から性的サービスを要求され、初めは断り続けていたが、「リフレやってる子なんて殆どこういう事してるよ。これで指名とか延長取るんだよ。」と言われ、強引に体を触られてしまった。スタッフも守ってはくれず、心身の体調を崩してしまいしばらく学校にも行けなくなった。

平成29年7月1日
JKビジネスを規制する「特定異性接客営業等の規制に関する条例」が施行

実際に↓↓

JKビジネス店で働いていた１７歳を客とわいせつな行為をさせたとして警視庁が児童福祉法違反の疑いで経営の男を逮捕した

懸念と課題

店舗で出来なくなると、舞台が「ネット」に移り実態が分かりづらくなるためその対策も必要。行く場所やお金がなく困っている子たちの受け皿が必要。

平成29年度 警察庁調べ
（平成29年におけるＳＮＳ等に起因する
被害児童の現状と対策について 参考資料）より

Twitter

無料通信アプリ
LINE

学生限定チャット型
交流サイト

チャット型
交流サイト

出会い系サイト以外でのSNSをきっかけとした
性犯罪などの被害に遭った18歳未満の子供
1,813人

５年連続増！
統計のある平成20年以降で最多！

淫行などの青少年保護育成条例違反　７０２人

裸の写真撮影、児童ポルノ　５７０人

児童買春　４４７人

強制性交等と略取誘拐、強制わいせつ被害　６１人

▼ ９５％が少女

▼ １５～１７歳７割

▼ １１歳以下も１７人

bond Project が関わる女の子たち＜SNSに潜む危険＞

家庭や学校に居場所がなくて、自分のことを必要としてくれる場所を
求めてしまう女の子たちは、刹那的に、すぐそばにある危険な世界へ踏み込んでしまう。

↓

現在、その主な入り口はスマホによるSNS上や出会い系サイトによる繋がり、
年齢も性別も関係なく、簡単に全国どこにでも繋がりを持ててしまう。

↓

消えたい、死にたい気持ちを抱きながらも、今、寂しくて、自分を必要としてくれる。
一緒にいてくれる人を女の子がSNS上で求めたら、危ない人と繋がりやすくなる。

↑

相手はなぜかレスポンスが早く、行動力があるので、
私たちとしては悩ましかった。

そんなことを思っている時に座間の事件があった。
座間の事件を受けて、bondにくる相談者にとても近い印象を受けた。
実際に事件の報道があった際には、多くの女性の顔が浮かんで連絡をとった程。

座間９遺体事件
座間の事件は、神奈川県座間市のアパート内で
2017年10月に9人の遺体が見つかった事件。
被害に遭った10代20代だった女性たちとの接点は交流サイト（SNS）。
女性たちが自殺をほのめかすような投稿をしたところ、
協力するふりを装って接近したとされる。

「#自殺募集」のように、
援助交際や出会い系などに繋がるハッシュタグ

#パパ活
#パパ活女子
#円
#デート援
#p活
#サポ
#サポ募集

#死にたい
#さみしい
#家出
#リスカ
#アムカ
#自傷
#メンヘラ

女の子の声

何かあってもなくても毎日死にたい
死にたい気持ちがずっとあって苦しい
1人だって思ってしまってすごい孤独な夜
そうなるとやっぱりSNSしかなくて、、、
後で辛くなるって分かってるのにSNSしかない
援交垢ならほぼ100%返信くるし送らなくてもくる
自分で何とかしようって思って援交したら余計辛くなる
それで死にたい気持ちだけ膨らんでいく

最近は死にたくなると首絞めてる
本当に本当に限界まで絞めるの
そしたらね酸素薄くなって頭がフラ〜ってなって少し楽になる
これも本当に一瞬だけどね、、、
これを何回も何回もするの
死ぬ練習みたいな、

この人たちが必要としてくれるっぽい

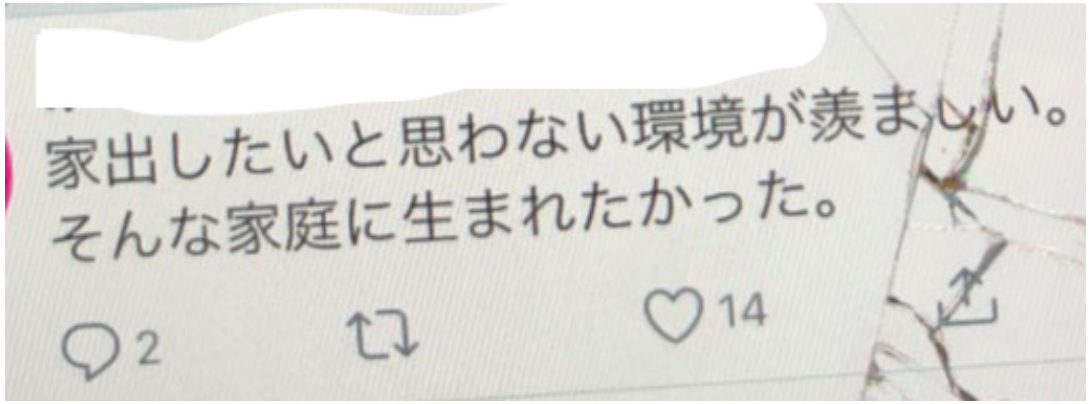
昨日のお昼からずーっと1人
夜ご飯も寝る時も起きても1人
家が冷たい
やっぱりSNSしか居ないや
私のこと求めてくれる人
死にたい

さみしいって思ったとき
つらくなったとき
さみしいって投稿したら
すぐに何十人のひとからへんじきて
すぐにあえるひとがいっぱいおる
だからいちじてきにさみしくなくなる
やめようとしてもうまくできなくて
じかんばっかりたっていく
今日おひるにまちあわせした人も
会ったしゅんかんほてるだったよ
えっちしたらすぐばいばい

- **Twitterで募集している**
- **特定のキーワードで投稿・検索**
- **アカウント匿名で複数取得**

出会い系などサイトで使われる用語

ウリ	援助交際を表す言葉。
¥、〇、円、援	援助交際を意味する隠語。園校、円光とも表す。
神待ち	家出した少女が泊めさせてくれる男性（神）を探している状態を表す言葉。 泊めてくれる男性の事を「ネ申」と表記する場合もある。
ゴ有（ごあり）	ゴム有り、コンドーム着用のセックス希望ということを表す。 「ゴ有りホ別苺でお願いします」など条件を示す際に使われる。
サポ	サポート→援助交際を表す言葉。 「サポ希望」→「援助交際希望します」



行き場のない少女たち

家が安心できる場所ではない。親に悩みを話せない。話せば怒られる。
行きたくない学校に無理やり行かされる。それだけではなく、家庭内の虐待の場合もある。

↓

家を飛び出した後、行く場所もなく、彷徨う。

↓

警察に保護されればいいが、男性から街の中で優しく声をかけられて、
困ってるところを助けてくれた、と、信じてその男性について行ってしまい性被害に遭う

↓

家に帰りたくないと伝えても、警察に補導された場合のほとんどの子が
連れ帰されるか、帰るように促される。

↓

しかし、
帰れない子は食べるものも、寝るところもない、頼れる大人もいない

↓

SNSを利用して、今晩泊めてくれる人を探すこともある。

数か月、家に帰らず、泊めてくれる人の間を転々としたり、
一年単位で帰らない女の子もいる。

↓

SNS上で家出をしている女の子を見つけた男性は、
泊める代わりに見返りとして性行為を求める。

泊め男

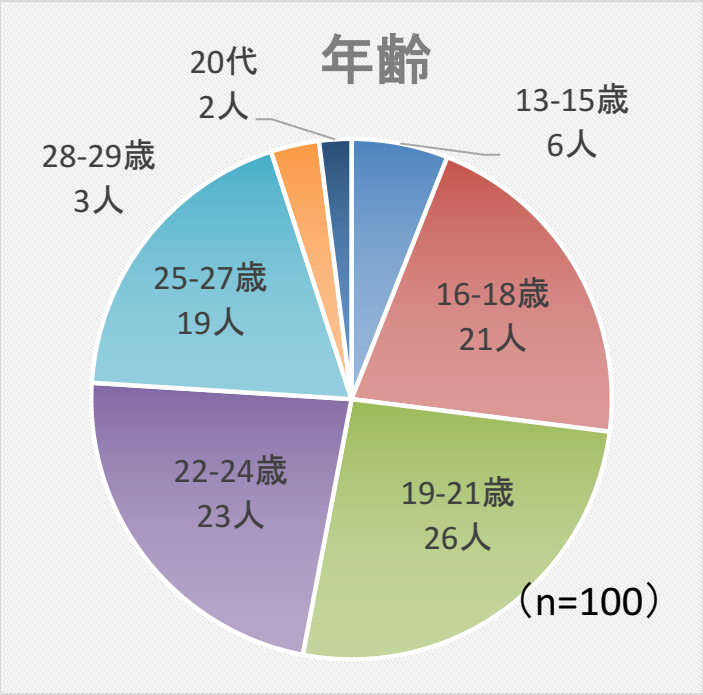
自殺願望SNS投稿の実態（当事者たちの声）

座間９遺体事件を受け、10代20代女性へSNS意識調査を実施【100人の回答結果報告】

■経緯

10月末に発覚した座間の事件を受け、bondにくる相談者にとても近い印象を受けた。
実際に事件の報道があった際には、多くの女性の顔が浮かび連絡をとった程であった。
「表向きの顔」ではなく、身近な人には言えない本音を伝えてくれている、 対象者と当団体の関係性だからこそ聞くことのできる声があると感じ、
「身近な人には言えない」→「ネットを主に居場所を求める」対象者に重点を当てた。

■対象：BONDプロジェクトに声を寄せる10代20代女性
■実施方法：対象者約1,000人にメールを送信、
メールで回答を求めた。



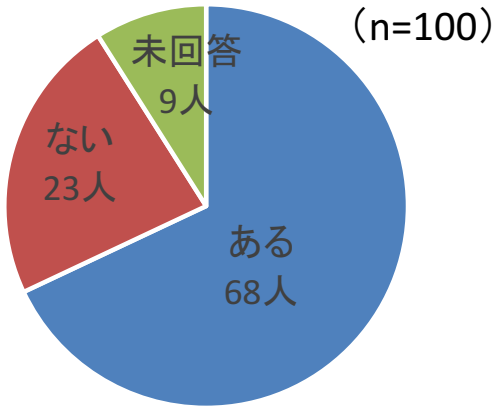
■アンケート項目

① なぜ、女の子たちはSNSに「死にたい」とつぶやくと思いますか？
② SNSに実際に「死にたい」とつぶやいたことはありますか？
③ SNSで知らない相手と繋がって、やりとりをしたことがありますか。
④ 「③」である方と答えた方は、その理由も教えてください。
どんな気持ちからだったのかを、教えてください。
⑤ 裏垢、病み垢など、アカウントを使い分けて、
リアルでは言えない悩みや本音をつぶやいたことはありますか？
⑥ Twitter他SNSでは不特定多数にコメントが見られてしまうけれど、
それに対しての不安などはないですか？
⑦ ある方はその理由を書いてください！。
⑧ 今回の座間の事件を受けてどう感じましたか。
⑨ 現状を変えていくには、私たち大人はどうすればよいと思いますか 。
⑩ 死にたい、消えたい気持ちはどうしたら無くなると思いますか？意見があれば自由に書いてください。

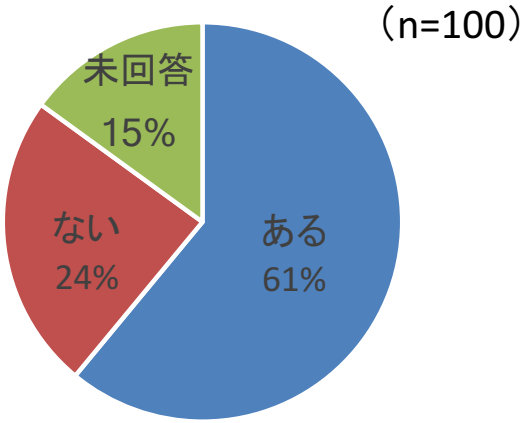
① なぜ、女の子たちはSNSに死にたいとつぶやくと思いますか？

▼現実で**寂しい**から。誰かに**存在をわかってほしい**し**認めてほしい**から。
▼リアルだと死にたいなんて言う**キャラじゃないから**。
世の中には死にたいって言って受け入れてくれる人ばかりじゃない。**必死に笑顔作って空気読んで築き上げてきた自分の居場所を失う**かもしれない。
▼私は死にたい気持ちを持っている人と**気持ちをわかり合いたい**みたいな感じ。

② SNSに実際に「死にたい」とつぶやいたことはありますか？



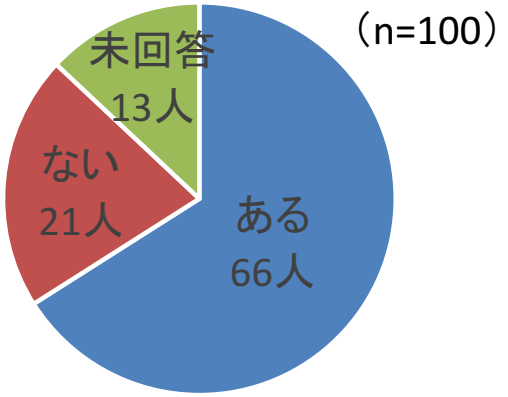
③ 知らない相手と繋がってやりとりしたことがありますか？



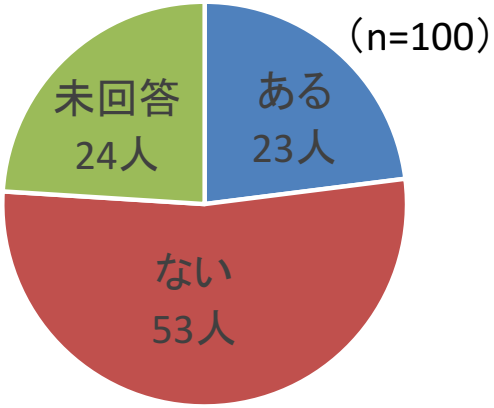
④その時の気持ちは？

▼誰かが見た時、「どうした？」って**聞いてくれる**。話を聞いてほしかった。
▼聞いてもらえるだけで、**共感**が得られるだけで、**1人じゃない**。って思えた。
▼もうどうでもいいやと思って。

⑤ 「裏垢」「病み垢」など、アカウントを使い分けてリアルでは言えない悩みや本音をつぶやいたことはありますか？



⑥ Twitter 他SNSでは不特定多数にコメントが見られてしまうが、それに対しての不安などはないですか？



⑧ 今回の座間の事件を受けて、どう感じましたか？

▼座間市の事件、**私も１０人目に**なっていたかもしれない。
▼**表面的にはふつうな子**が、**学校や親には言えない**、つらい死にたいくらいの気持ちを**SNSなら**呟けていたんだと思います。
▼死にたいっていうほどツライ日々を送ってたら、危険から自分の身を守るって思考が薄れると思う。

⑨現状を変えていくには、私たち大人はどうすればよいと思いますか？

▼相談員とか身近な感じだったらいいかな。
学校や役所にしかないし**気軽に相談できる環境**も作ってほしい。
▼**他者と他者が関わり合える安全な場所**、環境がもっと増えれば、また少し違うと思う。
▼**本当の気持ちを吐き出せる場所を作ってほしい**。
▼**親以外に話せる大人**がほしい。すぐに親に言うのではなく、子供との約束も聞いてほしい。
▼同じ境遇の人を集めて話をしてみるのも**共感**が得ていいかもしれない。
▼**知ろうとする気持ち**を持ってくれたら嬉しい。

少女達だけで勝手にやりとりをすると闇に引っ張られてしまう。

▼そばでそっと見守りながら、安心して吐き出してもらい「ここにいるからね」と言ってあげられるような場所作りが必要。
▼日常的に相談できる関係性を作り細く長く繋がることで、何かあった時に気軽に相談できる場所が必要。

私たちが出来ること

・ネットパトロールのような仕組み

・「死にたい」など〝本音〟をつぶやいても危険な目に遭わない、安心安全な居場所作り。

・同じような思いを抱く人同士が実際に会い、交流することができる場所作り。

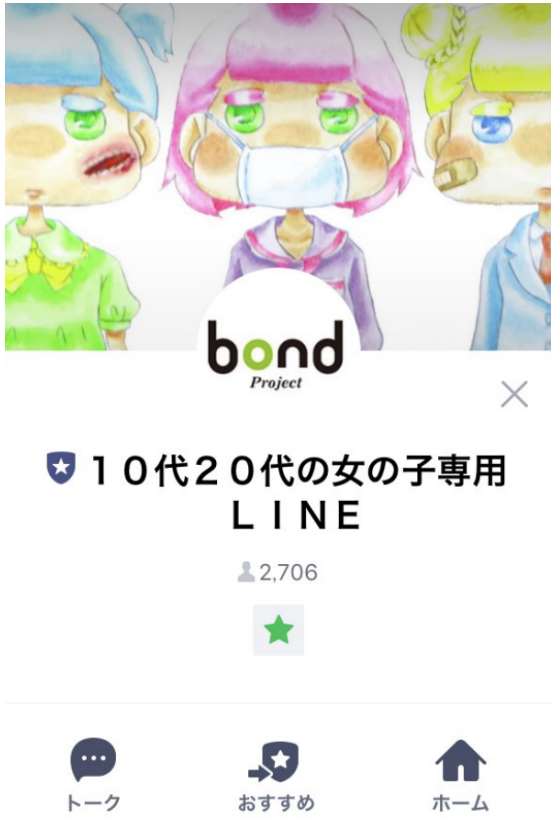
LINE相談・ネットパトロール

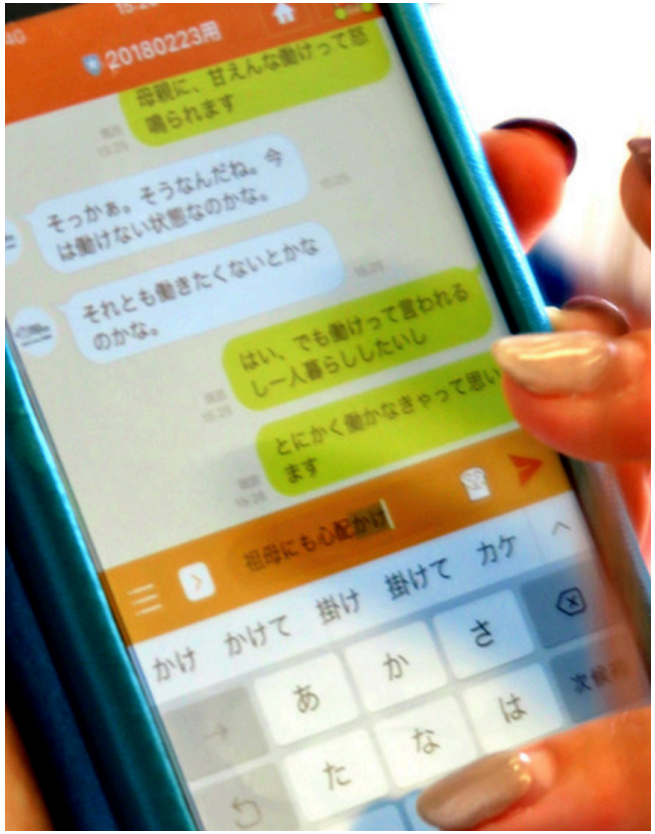
bond Project

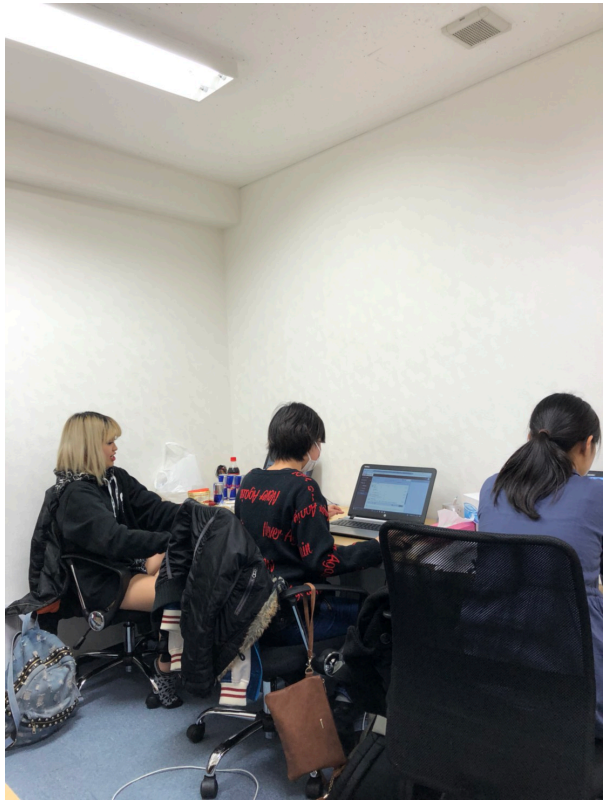
「座間９遺体事件」を受け、

▼2018年3月、厚生労働省自殺防止対策事業として「SNSによる相談事業」が施行。

▼ bond Projectとして、ネットに居場所を求める若年女性に対してのアプローチや、気軽に且つ早いレスポンスで会話ができるLINE相談の強化をはかることに。







ハイリスク者の
早期発見・早期介入

リアルタイム
でのやりとり

bondProjectの既存の支援
面談、保護、専門機関への連携に**繋ぐ**

ネットパトロール

bond Project

ハッシュタグ検索したワード

（一部の例）

＃殺して　＃殺してほしい　＃助けて
＃自殺仲間　＃集団自殺
＃一緒に死にませんか
＃貢ぎ奴隷　＃財布奴隷 ＃泊めて
＃神待ち　＃行くとこない　＃居場所
＃家出少女

#病み垢さんとつながりたい
#病み垢さんと繋がりたい
#メンヘラさんと繋がりたい
#ヤンデレさんと繋がりたい

#依存したい　#依存されたい　#共依存
#束縛　#嫉妬　#嫉妬深い人
#独占欲　#孤独　#依存体質
#情緒不安定　#マスク依存症　＃いじめ

実際に行ったDMによる声かけ

こんばんは。
いきなりごめんなさい(._.)10代20代の女の子の声を聞かせてもらっているNPO法人bond Projectです。
つらいこと、苦しいことなど、よければLINEでお話きかせてくれたらうれしいな…。
私たちのQRコードを載せたよ。気が向いたらでいいから、もしよければよろしくね☺

ネットパトロール（2018.3.1-3.31）

bond Project

Twitter

気になる女の子の投稿や繋がりを見て、「いいね」をつけるのか、
リプライ・DM（ダイレクトメッセージ）を送るのか等を判断しながら対応

▼アカウントへの送信件数　　４４４件
▼返信のあったアカウント件数　　８３件

▼LINE相談に繋がった件数
　Twitter　DM・リプより　　２７件
　その他 Twitterを見て知った等　　５０件以上

Twitter以外のSNS・掲示板等サイト

それぞれのサイトの特性を把握した上で、
❶bondProjectとして、bondProjectのLINE相談を案内
❷第三者として、厚労省ホームページリンクを案内

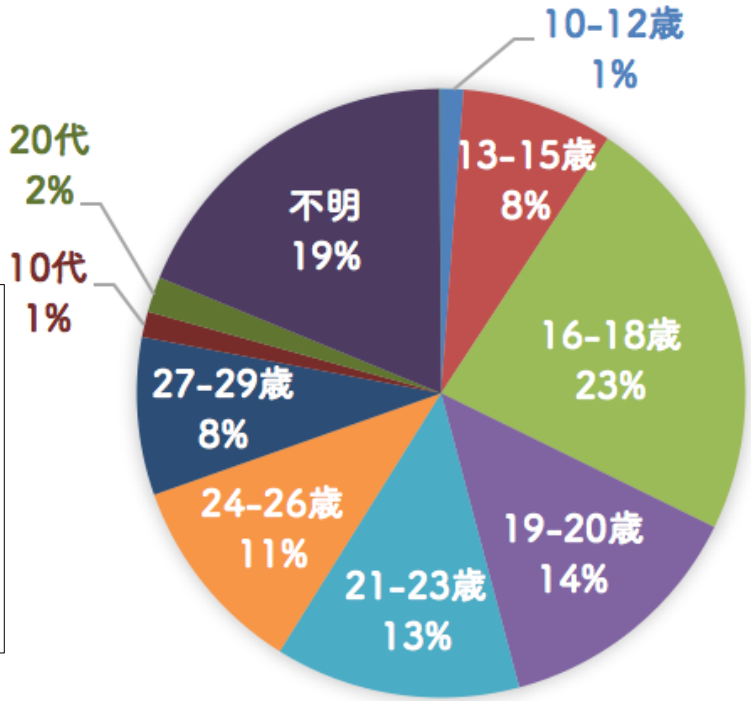
▼ パトロールを行ったサイト数　　１９サイト
▼ LINE相談に繋がった件数　　１０件（把握できている件数のみ）

▼その他、掲示板管理者の方から、自殺防止における協力（連携）が
何かできないかと連絡があったサイトもあった。

LINE相談件数（2018.3.1-3.31）

▼友達登録数　　１,３８８人
▼相談者数（実数）　　７０８件
▼相談回数（延べ件数）　３,９７５件

相談者年齢（n=3,975）



＜相談内容項目＞
1.学校のこと　2.職場のこと　3.家族のこと
4.お金のこと　5.恋愛のこと　6.妊娠のこと
7.育児のこと　8.性の被害　9.ネット被害
10.ストーカー　11.メンタル（こころ）のこと
12.行く場所がない　13.その他

相談主訴において多かった項目

❶　メンタルのこと（自殺念慮、精神疾患のことなど）
❷　家族のこと（虐待含む）
❸　学校のこと（いじめ、友達関係、教師との関係など）

bond Project

出張面談相談、同行支援、緊急時の保護事業

LINE相談から繋がった支援（延べ件数）
2018年3月1日－31日（17:00-21:00、22:00-26:00）

▼電話聞き取り	２２件
▼面談	１６件
▼出張面談	１１件
▼同行支援	３件
▼保　護	５件
▼連　携	１２件

2018年４月から
週５日（月・水・木・金・土曜日）
18:30-22:30

【連携先】
弁護士、司法書士、警察、
行政相談機関、民間支援団体

bond Project

BONDプロジェクトが考える課題・提言

bond Project

1、性暴力被害者へのケアの充実

「被害者」と認められるためのハードルが高いがために、支援を受けることができず被害を一人で抱え込んでいる若年女性が多くいます。
親に援助してもらえない、保険証が手元にない、交通手段がない、お金がない、周りに知られたくない等の理由により泣き寝入りする子たちがたくさんいます。

2、法、制度からこぼれ落ちている若年女性のケア

法律や制度の狭間にいる若年女性の居場所、相談窓口、シェルターの設置。
「居場所がない10代の子」のための、犯罪が起こる前の居場所作り。

17歳までは児童福祉法があり、児童相談所に相談できます。本来高校生であれば18歳でも児童相談所で対応してもらえることが可能であるにも関わらず、18歳もしくは18歳になる数週間前から支援を受けることが非常に困難な状況にあります。
また、18歳からは児童福祉法から外れるが、未成年であるため保証人の関係で住居の契約ができない、お金がない、社会スキルや生活スキルが充分に身についていないなど、自立への準備が出来ていない状況にあるにも関わらず、誰にも頼ることができず困っている子が多くいます。そうした若年女性は犯罪被害や性搾取にあいやすく、よりハイリスクな状況に陥ってしまいます。

3、若年女性の中長期的なフォローを含めたトータルサポートができる「相談センター」の設置

若年女性は「相談をする」といったことに大きな抵抗を抱く傾向にあります。
自分はそこの支援対象に当てはまるのか、否定されたくない、見捨てられたくない、何を話していいのか分からないなど、本当の気持ちや相談内容を話せるようになるまでにも非常に時間がかかります。

4、性教育、SNS、JKビジネス等に関する教育現場での「リテラシー教育」の充実

現在の青少年は、性、SNS、JKビジネスなど、これらの受け止め方や使い方、危険性を知らずに気軽に介入しやすい環境にあります。JKビジネスにおいても「ただの割のいいバイト」だと思い、風俗だということやその先の危険性を知らずに安全なアルバイトと思い踏み込んでしまう子も多くいます。

（渋谷での街頭アンケートで「JKビジネス」について10代20代の女性に聞いたところ、驚くことに「JKビジネス」という言葉を知っている女の子はほとんどいませんでした。補足、説明すると「知っている」「友達がやっていた」など理解した様子がうかがえました。このことからも、若年世代にとってJKビジネスが身近なものではあるが、危機感や違和感を抱いているわけではないことも汲み取れます。）

５、行政だけでは担うことができない活動をしている民間団体等の資金確保

問題を抱え、困った状況にありながらも公的支援の対象となりにくい若年女性は多く、民間団体が狭間を埋める役割を担っています。
相談は増え続けており、よりケアが行き届くよう資金の確保が必要です。

６、各警察署に、若年女性に特化した被害状況に詳しい警察官の配置
その他行政機関等においても、若年女性に特化した問題に詳しい担当者の配置

警察署に行くまでもハードルが高く、被害者が自身の生活やお金、精神を削りながら相談に通うのに、心ない対応をされてしまったり、調査や鑑定の結果がとても遅かったりと、「警察に相談に行っても安心できない」ということが問題だと考えています。
受けなくていい被害を受けてしまった人が「相談してよかった」と思えるような心ある体制づくりが必要です。

サポーター募集・緊急募金のお願い！！

活動を継続していくために、ご協力をお願いいたします。

■正サポーター（個人・団体）

年会費　一括払い：46,000円
　　分割払い:毎月4,000円

特典　　1、活動報告会　参加費無料
　　2、bond主催イベント　参加費1割引き
　　3、活動報告「news web letter」の配信
　　4、VOICES MAGAZINE発行時郵送0円

■賛助会員（個人・団体）

一口　5,000円（一口以上）

特典　　活動報告「news web letter」の配信

サポーター・ご寄付のお申し込みは、
ホームページよりお願いいたします。

女の子たちの自立支援のための

「本っとありがとうプロジェクト」

charibon by value books

ご家庭で読み終えた本はありませんか？　それをご寄付いただくと、
生きづらさを抱える女の子たちの自立を支援する活動に役立てることができます。

「チャリボン」とは？

charibon by value books ・・・ チャリボンとは株式会社バリューブックスが運営する、古本のリユースによるNPO・NGOの支援活動です。
詳しくはホームページ → http://www.charibon.jp/about/

「本っとありがとうプロジェクト」とは？

「読み終えた本」が、女の子たちの自立を支援する活動に役立ちます。

自己肯定感の希薄さ、対人不安、社会経験の不足によって、生きづらさを抱えている女の子たちが、自立の道を模索できるよう支援するために、リサイクルにご協力ください。あなたの元に眠る古本で、何人かの女の子たちが自立できる可能性があります。

単行本が 2000冊※集まったら、こんなことができます。

※買取価格が 50円の場合

「リストカット、オーバードーズ、レイプなどにより、安心して眠れない状態にある延 100名の女の子たちに、自立的で健康的な生活を立て直すためのサポートを提供できます。」

リストカット、オーバードーズ、レイプなどにより、安心して眠れない状態にある子たちは、薬にしか頼ることができない子が多く、それによるリスクも大きいです。講師から、健康的な生活を営む上での豊かな知識と方法、楽しみのカウンセリングを受けることで、心身のバランスを調え、彼女たちの社会復帰へ繋げることができます。

「250人の女の子たちに飲み物と人と関わり合える場を与えることができます。」

人と触れ合いを求めているけれど、大人を信用できない子が多く、異なった形で出逢いを求める子もいます。 気軽に立ち寄って、スタッフたちと話をしたり、人と触れ合うきっかけを与えることで、コミュニケーションをとりながら彼女たちをサポートすることができます。

「10人の女の子たちを専門的機関へ繋げることができます。」

問題を抱えている女の子たちは、金銭的にも専門機関へ相談できる子はとても少ないです。 弁護士、臨床心理士、心理カウンセラー等に繋げることにより、彼女たちの問題をよりよい状態で緩和することができます。

「本っとありがとうプロジェクト」の流れ

① 古本を寄贈

5冊から送料無料

→

② 古本の集荷・仕分け・買い取り

VALUE BOOKS
whole sale books and recycle books company.

株式会社バリューブックス
http://wwwvaluebooks.jp

→ 買い取り金額の寄付

③ 女の子たちの自立支援のための費用へ

bond Project

NPO法人「bond Project」
http://bondproject.jp

NPO法人「bond Project」とは　NPO法人「bond Project」は、女の子たちの生き方の選択肢を増やし、寄り添いながら一緒に考えていく団体です。 生きづらさを抱えている女の子たちは、自己肯定感の希薄さ、対人不安、社会経験の不足によって、きっかけを逸しているだけです。適切な関わりをもつことによって、自立・就労に向かっていける存在です。 このプロジェクトによる寄付金は、女の子たちの自立支援のために活用いたします。

古本の集荷・仕分け・買い取りは株式会社バリューブックスが行います。取り扱い古本の内容などは、こちらにお問い合わせください。

株式会社バリューブックス　古物商免許：長野県公安委員会第 481100800018号
〒386-0041 長野県上田市秋和 537　TEL: 0120-826-295　E-mail: info@value-books.jp　http://www.valuebooks.jp/

お申し込み方法

ネットで申し込む　▶ https://www.charibon.jp/donation/action.cgi

電話で申し込む

1. 不要になった書籍を段ボールに詰めます。下の申込書をプリントアウトし、ご記入の上、本と一緒に入れます。
   ※ダンボールが複数になる場合でも、申込用紙は 1 枚で大丈夫です。　※古本は 5 冊から、着払いで受け付けます。
   ※18歳未満の方は、保護者の方にお願いしてお申し込みください。
2. 株式会社バリューブックス 0120-826-295 に電話。
   「本っとありがとうプロジェクトに申し込みたいのですが…」と、伝えてください。
   ●電話受付時間：　月～土　10:00～21:00 ／ 日　10:00 ~ 17:00
   宅配業者がご指定の時間に引き取りにうかがいます。※ヤマト運輸の集荷を手配します。※古本は 5 冊から、着払いで受け付けます。
3. 株式会社バリューブックスにて、買い取られます。買い取り金額は、NPO法人「bond Project」に寄付されます。
4. NPO法人「bond Project」にて女の子たちの自立支援に生かさせていただきます。

「本っとありがとうプロジェクト」申込書

あなたの本が、女の子たちの自立支援に役立てられます。

「本っとありがとうプロジェクト」へのご参加、ありがとうございます。「本っとありがとうプロジェクト」は、みなさまから本を寄贈して頂き、その売却代金をご寄付として、女の子たちの自立支援に役立てるものです。お手数ですが、下記「贈与等承諾書」をお読みの上、ご同意いただけましたら、署名欄にサインをお願いいたします。

贈与承諾書

1. 私は、私が所有する本を、株式会社バリューブックスに売り渡し又は引き渡し、その売却代金をNPO法人BONDプロジェクトが受領することを了承します。なお、私は、NPO法人BONDプロジェクトが本件物品を贈与することが目的ではなく、NPO法人BONDプロジェクトが本件物品の売却代金を受領することをもって、寄付行為とするものであることを確認します。
2. 私は、理由を問わず、本件物品の返還、買い取り相当額の支払いを株式会社バリューブックスおよびNPO法人BONDプロジェクトに請求しません。
3. 私は、NPO法人BONDプロジェクトと株式会社バリューブックスが、本書に記載された私の氏名等の個人情報を、本プログラムの目的にのみ使用することを了承します。

ご注意

以下の本は取り扱えませんので、ご了承ください。
ISBNのない本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、マンガ雑誌、一般雑誌は取り扱いできません。
※取り扱えない本が混入していても、費用の負担などは生じません。

9870123456789　ISBN978-4-1234-5678-9
ISBN見本

ご署名日　　年　　月　　日

ご署名	ふりがな	送付段ボール総数
団体名	団体でのお申し込みの方は団体名と担当者名をご記入お願いします。	個

「本っとありがとうプロジェクト」のご報告をさせていただきますので、以下に、ご記入ください。

ご住所	〒	電話	
		生年月日	西暦　　年　　月　　日
E-mail	団体でのお申し込みの方は団体名と担当者名をご記入お願いします。	□案内等を希望しない	

何を通して、「本っとありがとうプロジェクト」を知りましたか？	団体ID
□新聞　□ホームページ　□メルマガ　□twitter / mixi / facebook（該当するものに○） □知人　□イベント（　　）　□その他（　　）	13